

**「野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)」
初回決算(2017年11月14日)の分配金について**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)」(以下、ファンドといいます。)の初回決算(2017年11月14日)の分配金についてご案内いたします。

また、次ページ以降では、基準価額の推移や今後の運用方針等についてご説明いたします。

【分配金】 (1万口当たり、課税前)

	Aコース(為替ヘッジあり)	Bコース(為替ヘッジなし)
分配金額	150円	150円
決算日の基準価額	11,939円	12,205円
決算日の 基準価額(分配金再投資)	12,089円	12,355円

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【分配の方針】

原則、毎年5月および11月の14日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

基準価額の推移について

ファンドの基準価額は、2017年2月23日の設定日以降、概ね堅調に推移しました。

2017年11月14日現在、Aコース(為替ヘッジあり)の基準価額(分配金再投資)は、12,089円となり、設定来騰落率は+20.9%でした。また、Bコース(為替ヘッジなし)の基準価額(分配金再投資)は、12,355円となり、設定来騰落率は+23.6%でした。

また、足元の基準価額上昇の背景としては、ファンドの主要な投資先である米国※の企業の2017年第3四半期(7-9月期)の決算内容が概ね良好だったことが挙げられます。10月に発表されたこの決算では、IT(情報関連)セクターを中心に堅調な内容が確認されました。

※Aコース・Bコースともに2017年10月31日現在、米国への配分比率69.4%
(マザーファンドの純資産比とファンドが保有するマザーファンド比率から算出)

Aコース(為替ヘッジあり)の基準価額の推移

期間:2017年2月23日(設定日)~2017年11月14日、日次



Bコース(為替ヘッジなし)の基準価額の推移

期間:2017年2月23日(設定日)~2017年11月14日、日次



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものととして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

組入上位銘柄の足元の決算について

< >内の国・地域は原則発行国・地域で区分しています。

Aコース・Bコースの組入上位5銘柄(2017年10月31日現在)

	銘柄	国・地域	業種	純資産比
1	AMAZON.COM INC アマゾン・ドット・コム	<米国>	一般消費財・サービス	3.3%
2	NVIDIA CORP エヌビディア	<米国>	情報技術	3.0%
3	MASTERCARD INC マスターカード	<米国>	情報技術	2.9%
4	MICRON TECHNOLOGY マイクロン・テクノロジー	<米国>	情報技術	2.9%
5	INTUITIVE SURGICAL INC インテューイティブ・サージカル	<米国>	ヘルスケア	2.9%

・純資産比は、マザーファンドの純資産比とファンドが保有するマザーファンド比率から算出しています。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2017年第3四半期(7-9月期)の決算を発表した企業の決算内容を見てみましょう

組入1位 アマゾン・ドット・コム (AMAZON.COM INC) <米国>

銘柄概要

- ✓ Eコマースで世界最大級。クラウド事業(AWS:アマゾンウェブサービス)が急成長し、収益の多様化が進む。
- ✓ 世界最大級のクラウド事業者で、AIが分析可能な膨大なデータ(ビッグデータ)が加速度的に増加。また、AIが音声認識するスピーカー型「Amazon Echo」を開発・推進し、住宅・家電などにもAIを応用している。

決算内容と株式市場の反応

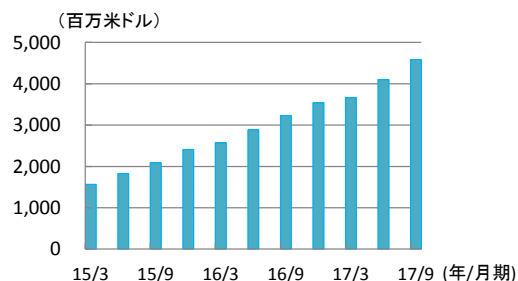
- ✓ 売上高、EPS(一株当たり利益)ともに事前の市場予想を上回る好調な決算。
- ✓ 注目されているクラウド事業の売上高は前年同期比+42%と、引き続き高い成長を維持。
- ✓ 決算の内容が好感され、発表後に株価は上昇し、過去最高値を更新。

今後の見通し

- ✓ 世界的にクラウドビジネスの拡大が続く潮流において、同分野のリーディングカンパニーである同社は、引き続き高い成長を実現することが期待される。

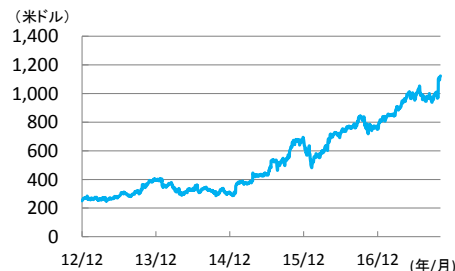
クラウド事業売上高の推移

期間:2015年3月期~2017年9月期、四半期



株価の推移

期間:2012年12月31日~2017年11月7日、日次



(出所)ブルームバーグのデータより野村アセットマネジメント作成

記載内容(各種情報より野村アセットマネジメント作成)は資料作成時点で確認できるものを使用しており、今後修正される場合があります。

上記は、上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

組入3位 マスターカード(MASTERCARD INC) <米国>

銘柄概要

- ✓ 世界各国で金融取引にかかわる非現金決済サービスを提供するIT企業。
- ✓ AIの活用により、**効率的かつ迅速に**決済サービスを提供し、顧客満足度の向上につなげている。
- ✓ 不正利用の検知に対しても**AIを活用し、コスト削減**につなげている。

決算内容と株式市場の反応

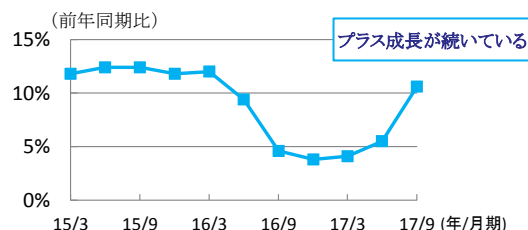
- ✓ 売上高、EPSともに事前の市場予想を上回る好調な決算。株価は発表後も引き続き上昇。

今後の見通し

- ✓ クレジットカード及びデビットカードの使用量が全世界で増えており、非現金決済の普及は、今後もグローバルに進むことが見込まれる。**AIを活用した競争優位性**を基に、同社がそのトレンドの恩恵を引き続き享受することが期待される。

マスターカード決済の成長率の推移

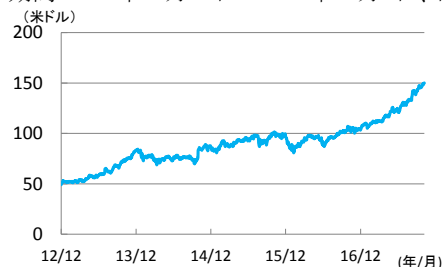
期間:2015年3月期~2017年9月期、四半期



(出所) 同社IR資料より野村アセットマネジメント作成

株価の推移

期間:2012年12月31日~2017年11月7日、日次



(出所) ブルームバーグのデータより野村アセットマネジメント作成

組入5位 インテューイティブ・サージカル(INTUITIVE SURGICAL INC) <米国>

銘柄概要

- ✓ 外科手術支援ロボットのパイオニア企業。手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」の製造・販売だけでなく、導入後のサービスも提供している。
- ✓ 手術支援に**AIを活用**。熟練外科医の技術・経験をデータとして蓄積し、**AIが解析**して、「どのように病巣切除を行えばよいか」具体的な手術方法等をAIが提示。

決算内容と株式市場の反応

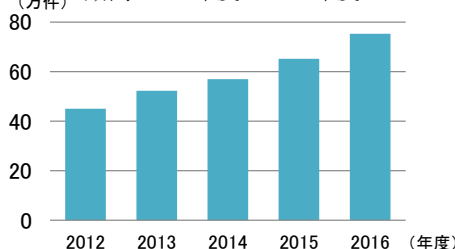
- ✓ 売上高、EPSともに事前の市場予想を上回る好調な決算。発表後に株価は上昇し、**過去最高値を更新**。
- ✓ 注目されている「ダ・ヴィンチ」の2016年度施術件数は**前年度比+15%**と堅調に成長。

今後の見通し

- ✓ 決算発表後に経営陣による「ダ・ヴィンチ」施術件数の2017年の見通しが引き上げられた。米国以外への販売拡大だけでなく、「**ダ・ヴィンチ**」を用いた**施術の適応領域拡大**を背景に、同社の高い成長が引き続き期待される。

「ダ・ヴィンチ」施術件数の推移(概算)

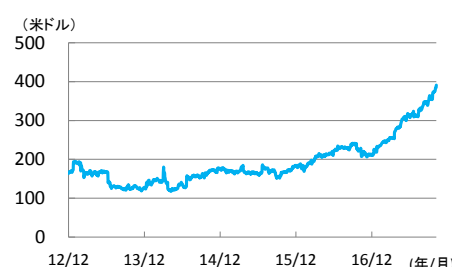
期間:2012年度~2016年度



(出所) 同社IR資料より野村アセットマネジメント作成

株価の推移

期間:2012年12月31日~2017年11月7日、日次



(出所) ブルームバーグのデータより野村アセットマネジメント作成

記載内容(各種情報より野村アセットマネジメント作成)は資料作成時点で確認できるものを使用しており、今後修正される場合があります。

上記は、上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

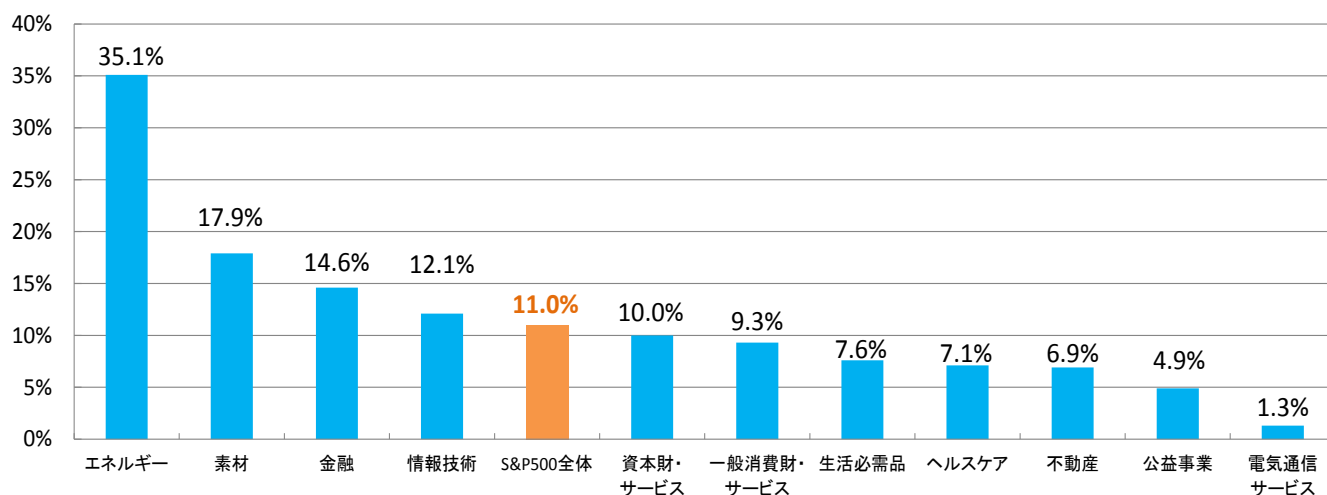
今後の運用方針について

ファンドでは、世界各国の株式の中から、高度なAI(Artificial Intelligence:人工知能)先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行います。前述の通り、現在のファンドの主要な投資先は米国であり、米S&P500株価指数の構成銘柄(以下、S&P500企業)の2018年の利益成長率は各セクターでプラスが見込まれ、**引き続き高い利益成長が予想されています。**

AI(人工知能)、クラウドビジネスなどの高成長が期待される分野への注目は引き続き高く、最新のトレンドを的確に捉え、成長企業の発掘に注力してまいります。更に、短期的な業績動向に過度にとらわれず、中期的な競争優位性を見極めることに重点を置いた調査をもとに銘柄を選択してまいります。

S&P500企業の2018年の予想利益成長率(セクター別)

2017年11月3日現在



・FactSetによる予想。
(出所)FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

今後とも「野村グローバルAI関連株式ファンド」をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

以上

《使用した指数について》

S&P500株価指数は、スタンダード&プアーズが公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されております。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーに帰属しております。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村グローバルAI関連株式ファンド
Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

【ファンドのポイント】

1

世界各国の株式の中から、AIに関連する企業へ投資します。

AI(Artificial Intelligence:人工知能)とは人間のように学習して行動するコンピュータの事です。

高度なAI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行いません。

2

「IT関連」「産業関連」「医療・ヘルスケア関連」の3つの分野に注目し、AI関連銘柄を選定します。

- IT関連(フィンテック、ソフトウェア、セキュリティ等)
- 産業関連(IoT、ロボット、自動運転等)
- 医療・ヘルスケア関連(新薬、機器、新治療法開発等)

3

「Aコース(為替ヘッジあり)」「Bコース(為替ヘッジなし)」間でスイッチングが可能です。

ファンドの特色

■新興国を含む世界各国のAI(人工知能)技術関連の株式(DR(預託証券)*1を含みます。)を実質的な主要投資対象*2とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。

*1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRIは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。

*2 ファンドは、「野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド」をマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。「実質的な主要投資対象」とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

・償還金額等が企業の株式の株価に連動する効果を有するリンク債、金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株価指数連動型上場投資信託証券(ETF)および不動産投資信託証券(REIT)ならびに企業の株式の株価に係るオプションを表示する証券または証券も含まれます。

■銘柄選定にあたっては、グローバルな視点でAI先端技術の研究成果に着目し、AI技術の実用化に伴って投資魅力が高まると考えられるAI関連分野*3の銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行ないます。

*3 当方は、主なAI関連分野として「IT関連(フィンテック、ソフトウェア、セキュリティ等)」、「産業関連(IoT、ロボット、自動運転等)」、「医療・ヘルスケア関連(新薬、機器、新治療法開発等)」に注目します。

■株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。

■「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行ないません。

・「Aコース」は、現地通貨による直接ヘッジのほか先進国通貨等による代替ヘッジを行なう場合があります。ただし、代替ヘッジによっても為替変動リスクの低減の効果が小さいあるいは得られないと判断した通貨については、為替ヘッジを行なわない場合があります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

当ファンドの投資リスク ファンドのリスクは下記に限定されません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

なお、投資信託は預貯金と異なります。

《基準価額の変動要因》 *基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

■株価変動リスク

ファンドは、実質的に株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の株価変動は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。またファンドは、特定のテーマに絞った株式に実質的に投資を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広いテーマで株式に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。

■為替変動リスク

「Bコース」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高いこと等から、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。

「Aコース」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。なお、現地通貨による直接ヘッジのほか先進国通貨を用いた代替ヘッジを行なう場合がありますが、その場合、通貨間の値動きが異なる場合が想定され、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。また、円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかるため、基準価額の変動要因となります。なお、一部の通貨においては為替ヘッジの手段がない等の理由から為替ヘッジを行なわない場合があり、為替変動の影響を直接的に受けることとなります。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成39年11月15日まで(平成29年2月23日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則5月および11月の14日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ロンドン証券取引所・ニューヨーク証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2017年11月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.674%(税抜年1.55%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 *ファンドが実質的に投資するETFでは、管理報酬等の費用がかかります。投資するETFを通してファンドが実質的に負担する費用については、運用状況等により、投資比率、投資期間、投資銘柄およびその管理報酬等の費用が異なるため、事前に合計した料率、合計額、又は上限額等を表示することができません。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様ที่ファンドを保有される期間等に
応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会:日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104
(受付時間)営業日の午前9時～午後5時



★インターネットホームページ★
<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★
<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。